

辛國神社

辛國神社は雄略天皇（５世紀）の御代である、およそ 1,500 年前に創建された。10 世紀に律令の施行細則を記録した延喜式に書かれているように、官社に列せられた数千の神社のうちのひとつである。日本創生の神話に描かれている最初の神々などが御祭神だ。

本堂には物部氏の祖神である饒速日命、天照大神に三種の神器である鏡を守ることを任された神である天児屋根命、天照大神とツクヨミの弟である悪戯好きな素盞鳴命の三神が祀られている。

搭状になった石づくりの鳥居が境内への入口に立っており、聖域と俗世を分けている。木々と石灯籠が並ぶ門から本堂までの参道は石畳だ。2 月の星まつりや夜間行事がある際は奉納灯がともされる。